

第65期 株 主 通 信

平成22年 9 月 1 日から平成23年 8 月31日まで



ヤマト インターナショナル株式会社

証券コード 8127

株主の皆様へ



取締役社長 盤若 智基

株主の皆様方には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第65期株主通信（平成22年9月1日から平成23年8月31日まで）をお届けするに当たり、その概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、世界経済の改善及び政府の景気対策効果等により、一部に景気の持ち直しが見られたものの、デフレの影響等に加え、平成23年3月11日に発生いたしました東日本大震災による電力供給の制約や生産活動の低下等、景気が一気に落ち込む状況となりました。その後、徐々に生産活動及び個人消費に回復の兆しが見られつつあるものの、依然として厳しい雇用情勢や所得環境に加え、急激な円高や世界経済の減速懸念等、総じて厳しい状況で推移いたしました。

当業界におきましても、震災の影響により消費マインドの冷え込みや高額商品の販売低迷、不要不急商品の買い控え等、消費者の生活防衛意識は依然として強く、厳しい商況となっております。

このような経営環境の中、当社グループでは、「時代に合った顧客が求めるカジュアルスタイルの提案」を基本方針として、「真の顧客起点」と「真の小売業化」を念頭に、既存ビジネスモデルの成長と店舗運営力の強化に注力してまいりました。また、「ローコスト経営」を意識し、収益性とキャッシュ・フローを重視し、業務及び物流システムの効率化や生産拠点の積極的な見直しを図る等、「高収益ビジネスモデルへの再挑戦」を推進してまいりました。

販売面について

販売面では、決算期の変更によって、より小売に適した販売体制になったことを機に、基幹ブランドの「クロコダイル」「エーグル」「スイッチモーション」を中心とする自主管理型売場の更なる成長を目指し、販売効率の向上や機会ロスの削減に努める一方、「ベイジェジェ」等の育成ブランドの強化も図ってまいりました。

この結果、当社の自主管理型売場は前期末より純増で55店舗増加し、786店舗となりました。

また、重点事業であるインターネット・モバイル事業の更なる充実に努めてまいりました。



田中律子さんを母の日キャンペーンのキャラクターに起用

なお、不動産賃貸事業につきましては、引き続き東京本社ビル及び日本橋ビル等の自社物件を有効活用し、安定した収益を計上しております。

経費面について

経費面では、業務の効率化や諸経費の見直しを通じて「ローコスト経営」に努めており、自主管理型売場の増加に伴う販売費及び一般管理費は増加いたしますが、引き続き適正な水準を目指しております。

一方、当社グループの物流業務を請負う子会社ヤマト ファッションサービス株式会社では、在庫管理や入荷業務の精度を向上させ、布帛シャツ及びアウター等の製造を行う上海雅瑪都時装有限公司では、品質の向上と生産ラインの効率運営に注力してまいりました。

当期の業績について

当連結会計年度における連結業績は、東日本大震災の影響もあり、売上高は225億6千7百万円（前年同期比0.8%増）と微増となりました。利益面では在庫水準の適正化を図ったことにより、売上総利益率は50.8%と前年同期と同水準に留まりましたことと、新規出店に伴う負担もあり、営業利益は13億2千3百万円（前年同期比10.7%減）、経常利益は13億6千6百万円（前年同期比8.8%減）、当期純利益は、6億9千3百万円（前年同期比10.3%減）となりました。

セグメントごとの売上高では、繊維製品製造販売業223億千5百万円、不動産賃貸事業2億5千1百万円となりました。

なお、当社は前連結会計年度より決算期を11月期から8月期に変更したことにより、前年同期比につきましては、平成21



被災店舗
エーグル 仙台店（3月31日より営業再開）

年11月期第4四半期連結会計期間及び平成22年8月期通期連結会計年度（9ヶ月間）の累計（平成21年9月1日から平成22年8月31日まで）との比較を参考として記載しております。

当社グループが対処すべき課題

来期の展望といたしましては、東日本大震災後に見られた生産活動や個人消費の急激な落ち込みは、徐々に回復傾向にあります。原子力発電所事故による電力供給の制約や円高・デフレ基調の継続、海外経済の下振れ懸念等の影響で、日本経済の先行きは引き続き不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループといたしましては、経営方針に掲げた「時代に合ったカジュアルスタイルの提案」を基本方針として、「真の顧客起点」と「真の小売業化」及び

「ローコスト経営」を念頭におき、収益性とキャッシュ・フローを重視した経営に注力し、「高収益ビジネスモデルの再構築」を目指してまいります。

販売面では当社最大

の基幹ブランドである「クロコダイル」が来年で50周年を迎えます。「クロコダイルメンズ」「クロコダイルレディス」を統括する「クロコダイル事業部門」を新設し、長い歴史を振り返りつつ、これからの新しい未来に向けて様々な企画を考えております。50周年を記念した復刻・限定モデルの販売やコラボレーション企画、また「真の小売業化」を目指す上でコミュニケーション力向上を図るためのプレスルームを新設する等、幅広いお客様に愛されるブランドになるべく全社を挙げて更なる事業の拡大に取り組んでまいります。

また、その他の基幹ブランド「エーグル」「スイッチモーション」を中心とする既存ビジネスの安定成長と、「ベージェジェ」等の育成ブランドの更なる強化も図り、一方で新規ビジネスモデルの構築として積極的にインターネット・モバイル事業を推進しております。また業務や物流システムの効率化に加え、生産拠点を中国から東南アジアへシフトする等、生産コストの削減にも注力いたします。

その中で、自主管理型ビジネスの拡充とバランスのとれた在庫管理を推進することにより、より高い収益性の実現を目指してまいります。

株主の皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



被災店舗
クロコダイル 三井仙台港店（6月25日より営業再開）

「エーグル」で広がる コラボレーションアイテム

LIBERTY
OF LONDON
FOR
AIGLE

前年度に引き続き「エーグル」では、さまざまなコラボレーションを実施しています。まず、1875年創業の英国「リバティ社」とのコラボレーション。オリジナルフラワープリントによるラバーブーツとアパレル製品「LIBERTY OF LONDON FOR AIGLE」を発売し、話題になりました。

また、ユナイテッドアローズとコラボレートして、日本初のエーグル特別展〈SAVOIR FAIRE SAVOIR VIVRE〉を開催。エーグルブーツのユニークな製法や舞台裏を紹介するとともに、エーグルアーカイブ所蔵の歴史あるブーツの展示や、エーグルフランスCEOロマン・ギニエ氏を迎えた「トークタイム」などイベントは大盛況に終わりました。また、イベントを記念して、二つのブランドによる限定コラボブーツも発売し、その収益の一部は、日本赤十字社を通じて、東日本大震災における被災支援のために寄付しました。



▲ リバティとの
コラボレーションアイテム



▲ AIGLE FOR
UNITED ARROWSブーツ



▲ 〈SAVOIR FAIRE SAVOIR VIVRE〉展の様子

当社の社会貢献・ 環境保全活動

● 東日本大震災に対する支援

東日本大震災で被害に遭われた方々に対する支援として、当社より日本赤十字社へ義援金を寄付するとともに、宮城県石巻市ならびに福島県相馬市へ「エーグル」ラバーブーツ、「クロコダイル」ソックス、「スピンボックス」Tシャツなどを寄贈しました。また、社員有志による救援物資持ち寄り活動として、紙おむつなどの赤ちゃん用品や高齢者用品、マスク・飲料水・使い捨てカイロなどの生活用品を被災地に送りました。現在も本社・営業所・直営店に募金箱を設置し、義援金の募集活動を行っています。被災地の一日も早い復興を願い、これからも支援活動を続けてまいります。



● ピンクリボン運動

「クロコダイルレディス」「スウィッチモーション」の店舗においてピンクリボンオリジナルストールを販売し、乳がんの早期発見早期治療の大切さを広めるとともに、売上の一部を「日本対がん協会ほほえみ基金」へ寄付しました。

● エコキャップ回収活動

ペットボトルのキャップを回収し寄付することにより、途上国にワクチンを寄贈しています。2010年12月～2011年5月の回収個数は、35,356個でした。



● ヤマトクリーンデイ清掃活動

ヤマトクリーンデイを年3回設け（4月はアースデイ）、東京・大阪両本社とデリポート、福岡営業所の周辺を清掃しています。4月のアースデイでは、直営店スタッフにより店舗周辺の清掃を行いました。



「モバイルサイトのご案内」

下記ブランドでは「モバイルサイト」を開設しています。QRコードから、ぜひアクセスしてください。

サイトから、会員にご登録いただきますとメールマガジンを配信します。オンラインショップの最新入荷情報を中心に、ショップからのご案内などをお届けします。

クロコダイル



プロジェクト サステナビリティ



バイジェジェ



エーグル



ヒロミチナカノ



今注目のスポットに出店 新店舗紹介

経営資源の選択と集中により、今注目を集めている
ショッピングスポットへの出店を積極的に進めています。



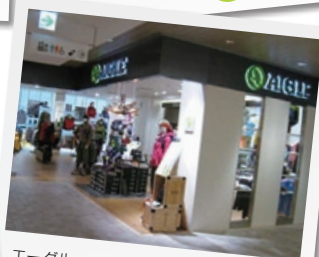
エーグル
あべのキューズモール店
(4月20日オープン)



エーグル
アミュープラザ博多店
(3月1日オープン)



エーグル
アルビ店 (JR大阪駅構内)
(6月16日オープン)

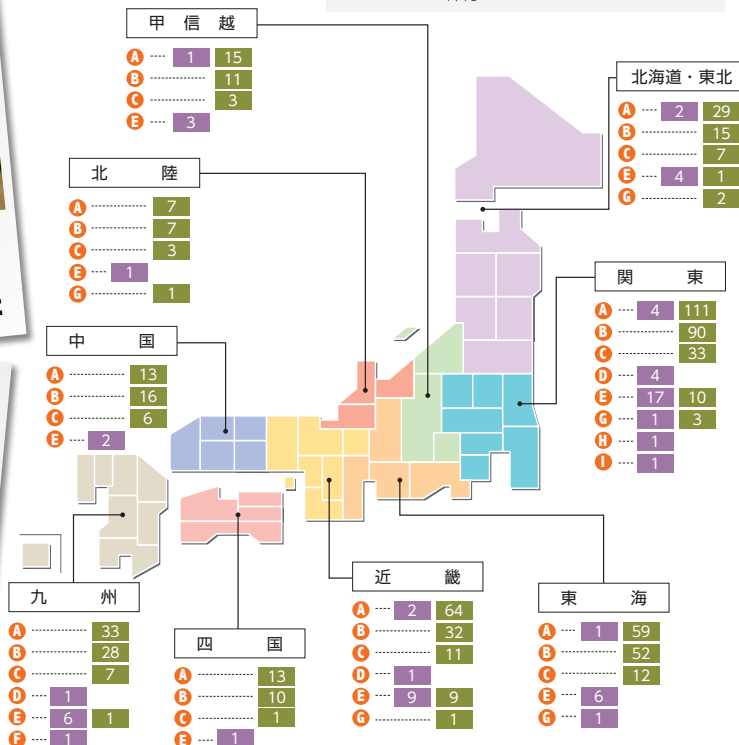


エーグル
二子玉川ライズ店
(3月19日オープン)



■直営・アウトレット店 70店
■コーナー・FC店 716店
自主管理型売場合計 786店
(平成23年8月31日現在)

北海道・東北 … 北海道・青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島
関 東 … 東京・神奈川・埼玉・千葉・茨城・栃木・群馬
甲 信 越 … 山梨・長野・新潟
海 … 静岡・愛知・岐阜・三重
北 陸 … 富山・石川・福井
畿 … 滋賀・京都・大阪・奈良・和歌山・兵庫
近 国 … 岡山・広島・山口・鳥取・島根
中 国 … 香川・徳島・高知・愛媛
四 州 … 福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・
九 沖縄



取扱ブランド一覧



A クロコダイル



B クロコダイルレディス



C スウィッチモーション



G ヒロミチバイ ヒロミチナカノ



H カーニーハウス



I スピンボックス



D ペイジェ



J マークストア



E エーグル



K キュリオシテ



F ユニバーシティ オブ
オックスフォード コレクション



L プロジェクト サステナビリティ

連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当 期 平成23年 8 月31日現在	前 期 平成22年 8 月31日現在
資産の部		
流 動 資 産	13,849,691	12,893,810
現金 及 び 預 金	3,781,827	3,385,397
受取手形及び売掛金	2,111,912	2,095,541
有 価 証 券	5,219,360	5,133,516
た な 卸 資 産	2,374,397	1,941,626
そ の 他	362,411	337,938
貸 倒 引 当 金	△ 218	△ 210
固 定 資 産	14,755,115	15,073,832
有形固定資産	10,799,001	10,911,425
無形固定資産	143,765	148,880
投資その他の資産	3,812,349	4,013,525
投資有価証券	1,799,030	1,739,738
差 入 保 証 金	1,465,752	1,463,692
そ の 他	590,103	853,367
貸 倒 引 当 金	△ 42,537	△ 43,272
資 産 合 計	28,604,807	27,967,642

科 目	当 期 平成23年 8 月31日現在	前 期 平成22年 8 月31日現在
負債の部		
流 動 負 債	6,144,623	5,388,275
支払手形及び買掛金	4,057,055	3,720,090
1年内返済予定長期借入金	591,320	203,320
そ の 他	1,496,248	1,464,865
固 定 負 債	1,711,202	2,108,535
長 期 借 入 金	800,030	1,291,350
そ の 他	911,172	817,185
負 債 合 計	7,855,825	7,496,810
純資産の部		
株 主 資 本	20,839,060	20,550,892
資 本 金	4,917,652	4,917,652
資 本 剰 余 金	5,644,906	5,644,906
利 益 剰 余 金	10,929,012	10,640,457
自 己 株 式	△ 652,510	△ 652,123
その他の包括利益累計額	△ 90,079	△ 80,060
純 資 産 合 計	20,748,981	20,470,831
負 債 純 資 産 合 計	28,604,807	27,967,642

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。
※前期は、決算期変更により平成21年12月1日から平成22年8月31日までの9ヶ月間となっております。

連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当 期	前 期
	平成22年 9 月 1 日から 平成23年 8 月31日まで	平成21年12月 1 日から 平成22年 8 月31日まで
売 上 高	22,567,379	16,563,248
売 上 原 価	11,110,514	8,197,917
売 上 総 利 益	11,456,865	8,365,331
販売費及び一般管理費	10,133,612	7,401,227
営 業 利 益	1,323,252	964,104
営 業 外 収 益	95,947	78,365
営 業 外 費 用	52,391	51,529
経 常 利 益	1,366,808	990,940
特 別 利 益	41,741	4,335
特 別 損 失	139,775	85,029
税金等調整前当期純利益	1,268,774	910,246
法人税、住民税及び事業税	601,476	321,730
法 人 税 等 調 整 額	△ 26,206	65,947
少数株主損益調整前当期純利益	693,504	522,568
当 期 純 利 益	693,504	522,568

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。
※前期は、決算期変更により平成21年12月 1 日から平成22年 8 月31日までの
9ヶ月間となっております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	当 期	前 期
	平成22年 9 月 1 日から 平成23年 8 月31日まで	平成21年12月 1 日から 平成22年 8 月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,038,263	2,730,804
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 799,491	△ 340,938
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 513,346	△ 192,395
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 20,099	△ 2,337
現金及び現金同等物の増減額	△ 294,674	2,195,133
現金及び現金同等物の期首残高	8,453,712	6,258,579
現金及び現金同等物の期末残高	8,159,038	8,453,712

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。
※前期は、決算期変更により平成21年12月 1 日から平成22年 8 月31日までの
9ヶ月間となっております。

連結株主資本等変動計算書 (平成22年 9 月 1 日から平成23年 8 月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証 券評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
平成22年 8 月31 日 残高	4,917,652	5,644,906	10,640,457	△ 652,123	20,550,892	△ 77,394	△ 38,561	35,894	△ 80,060	20,470,831
連結会計年度の変動額										
剰 余 金 の 配 当			△ 404,949		△ 404,949				—	△ 404,949
当 期 純 利 益			693,504		693,504				—	693,504
自 己 株 式 の 取 得				△ 387	△ 387				—	△ 387
株主資本以外の項目の連結 会計年度の変動額(純額)					—	18,353	17,479	△ 45,851	△ 10,018	△ 10,018
連結会計年度の変動額合計	—	—	288,555	△ 387	288,168	18,353	17,479	△ 45,851	△ 10,018	278,149
平成23年 8 月31 日 残高	4,917,652	5,644,906	10,929,012	△ 652,510	20,839,060	△ 59,040	△ 21,081	△ 9,957	△ 90,079	20,748,981

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当 期	前 期
	平成23年 8月31日現在	平成22年 8月31日現在
資産の部		
流 動 資 産	13,325,156	12,318,337
固 定 資 産	15,118,201	15,431,801
資 産 合 計	28,443,357	27,750,139
負債の部		
流 動 負 債	6,131,847	5,347,784
固 定 負 債	1,711,202	2,108,535
負 債 合 計	7,843,049	7,456,320
純資産の部		
株 主 資 本	20,680,430	20,409,774
評価・換算差額等	△ 80,122	△ 115,955
純 資 産 合 計	20,600,308	20,293,818
負 債 純 資 産 合 計	28,443,357	27,750,139

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。
※前期は、決算期変更により平成21年12月 1日から平成22年 8月31日までの
9ヶ月間となっております。

損益計算書

(単位：千円)

科 目	当 期	前 期
	平成22年 9月 1日から 平成23年 8月31日まで	平成21年12月 1日から 平成22年 8月31日まで
売 上 高	22,567,379	16,563,248
売 上 原 価	11,218,959	8,296,032
売 上 総 利 益	11,348,420	8,267,216
販売費及び一般管理費	10,127,855	7,387,539
営 業 利 益	1,220,564	879,676
営 業 外 収 益	133,215	117,180
営 業 外 費 用	39,366	50,147
経 常 利 益	1,314,414	946,709
特 別 利 益	41,742	4,336
特 別 損 失	139,775	84,227
税引前当期純利益	1,216,381	866,818
法人税、住民税及び事業税	566,142	299,170
法 人 税 等 調 整 額	△ 25,754	72,048
当 期 純 利 益	675,993	495,598

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。
※前期は、決算期変更により平成21年12月 1日から平成22年 8月31日までの
9ヶ月間となっております。

株主資本等変動計算書 (平成22年 9月 1日から平成23年 8月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本					評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
平成22年 8月31日 残高	4,917,652	5,644,906	10,499,339	△ 652,123	20,409,774	△ 77,394	△ 38,561	△ 115,955	20,293,818
事 業 年 度 の 変 動 額									
剰 余 金 の 配 当			△ 404,949		△ 404,949			—	△ 404,949
当 期 純 利 益			675,993		675,993			—	675,993
自 己 株 式 の 取 得				△ 387	△ 387			—	△ 387
株主資本以外の項目の事業 年度の変動額（純額）					—	18,353	17,479	35,832	35,832
事業年度の変動額合計	—	—	271,043	△ 387	270,656	18,353	17,479	35,832	306,489
平成23年 8月31日 残高	4,917,652	5,644,906	10,770,382	△ 652,510	20,680,430	△ 59,040	△ 21,081	△ 80,122	20,600,308

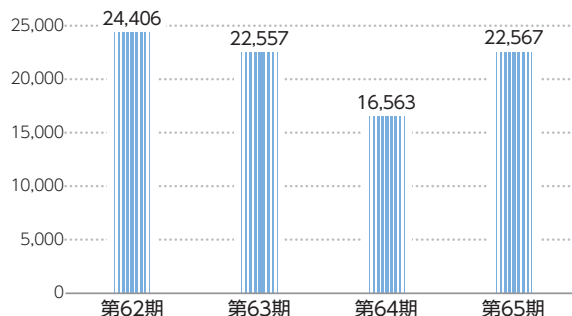
※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

財務ハイライト（連結）

※第64期は決算期変更により平成21年12月1日から平成22年8月31日までの9ヶ月間となっております。

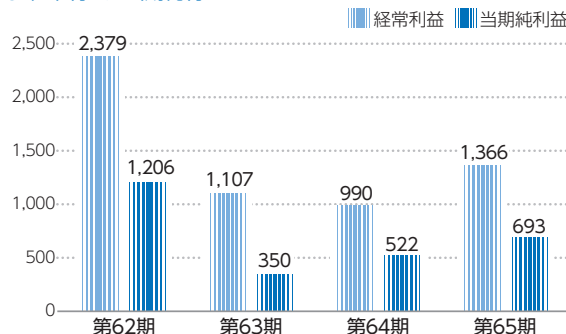
● 売上高

(単位:百万円)



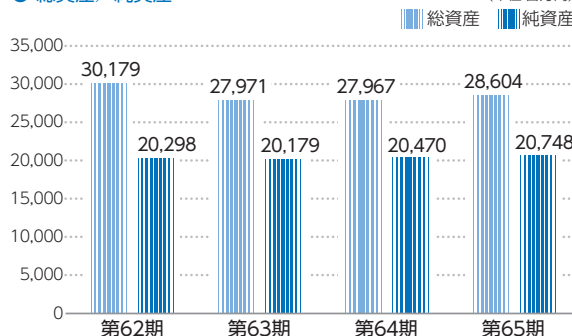
● 経常利益／当期純利益

(単位:百万円)



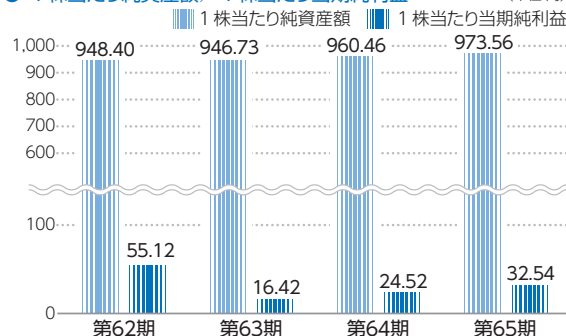
● 総資産／純資産

(単位:百万円)



● 1株当たり純資産額／1株当たり当期純利益

(単位:円)



株主優待制度のご案内

毎年8月31日現在の当社株式100株以上ご所有の株主様に対して下記の基準により贈呈いたします。

【ご所有株式数】

500株以上
100株～499株

【ご優待内容】

自社商品 3,000円相当
自社商品 1,000円相当

ご優待商品の発送は12月(予定)となります。

なお、株主優待制度へのお問合せは、下記の電話番号及びメールアドレスまでお願いいたします。

電話 06-6267-7383 (総務部)

メールアドレス soumubu@yamatoincr.co.jp

当期の株主ご優待商品

ご所有株式500株以上



ご所有株式100株～499株



株式の状況

平成23年 8月31日現在

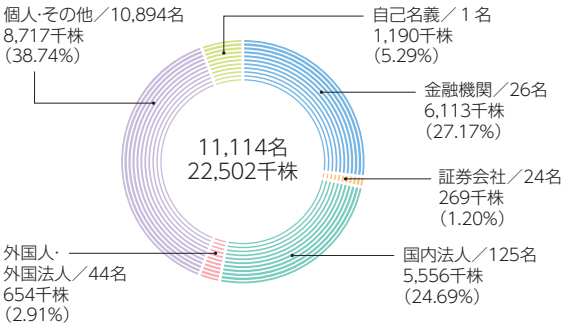
発行可能株式総数 71,977,447株
発行済株式の総数 22,502,936株
株主数 11,114名
(前期末比 1,772 名増)

大株主（上位10名）

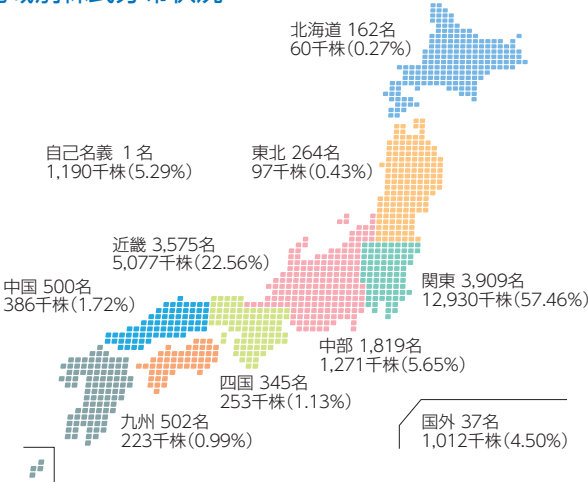
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
セネシオ有限会社	2,600	12.19
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	1,609	7.55
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,061	4.97
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	811	3.80
日本生命保険相互会社	717	3.36
野村信託銀行株式会社(投信口)	657	3.08
盤若 智基	570	2.67
藤原 美和子	374	1.75
盤若 真美	353	1.65
CGML:IPB CUSTOMER COLLATERAL ACCOUNT	333	1.56

(注) 持株比率は、自己株式（1,190千株）を控除して計算しております。

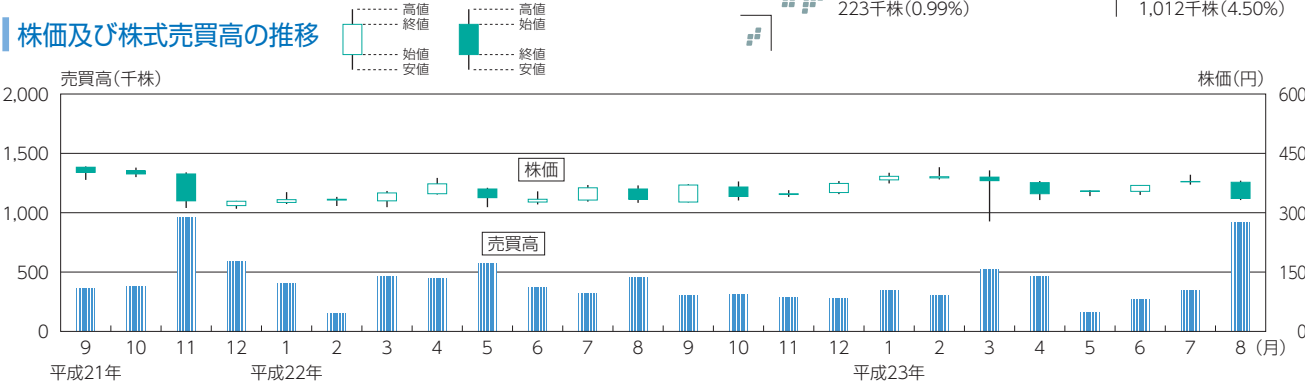
所有者別株式分布状況



地域別株式分布状況



株価及び株式売買高の推移



会社概況 平成23年 8月31日現在

設 立	昭和22年 6月16日
資 本 金	4,917,652,803円
主要な事業内容	当社グループは、カジュアルウェア中心の 平行企業として、カットソーニット、布帛 シャツ、横編セーター、アウター、ボトム、 その他小物雑貨等の繊維製品製造販売業及び 不動産賃貸事業並びにこれらに関連した事業 を営んでおります。
主 な 事 業 所	大阪本社 大阪市中央区博労町二丁目 3 番 9 号 東京本社 東京都大田区平和島五丁目 1 番 1 号 福岡営業所 福岡市博多区博多駅東三丁目11番28号
連 結 子 会 社	ヤマト マーチャンダイジング株式会社 本社 大阪市中央区 ヤマト ファッションサービス株式会社 本社 大阪市中央区 大阪配送センター 東大阪市 上海雅瑪都時装有限公司 本社（上海工場） 中国 上海市
当社グループの従業員数	483名（1,247名） （注）従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は （ ）内に当連結会計年度の平均人員を外数 で記載しております。

役員の状況 平成23年11月25日現在

取締役社長（代表取締役）	盤 若 智 基
常 務 取 締 役	名 取 勇
取 締 役	樋 口 敏 昭
取 締 役	高 橋 俊 輔
取 締 役	柴 原 保 夫
取 締 役	船 原 淳 一
取 締 役	奥 中 信 一
常 勤 監 査 役	内 田 勝
常 勤 監 査 役	島 正 男
監 査 役（社 外 監 査 役）	池 田 敏 行
監 査 役（社 外 監 査 役）	照 山 澄 人
（注）監査役 照山澄人氏は、東京証券取引所・大阪証券取引所が 指定を義務付ける一般株主と利益相反が生じるおそれのない 独立役員であります。	

株主メモ

事業年度 毎年9月1日から翌年8月31日まで
 定時株主総会 毎年11月に開催
 基準日 定時株主総会 毎年 8月31日
 期末配当 毎年 8月31日
 中間配当 毎年 2月末日
 単元株式数 100株
 公告方法 電子公告により当社ホームページ
 (<http://www.yamatointr.co.jp/>) に掲載いたします。
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
 お問合せ先 ○証券会社に口座をお持ちの株主様
 お取引の各証券会社、各取引店
 ○特別口座の株主様
 (証券会社に口座をお持ちでない場合)
 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
 お取扱店 みずほ信託銀行株式会社 全国本支店
 みずほインベスターズ証券株式会社 全国本支店

※未払配当金のお支払いにつきましては、両株主様と
 もに上記「特別口座の株主様」のお問合せ先・お取
 扱店並びに、みずほ銀行 全国本支店でもお取扱い
 いたします。

上場金融商品取引所 東京証券取引所市場第一部
 大阪証券取引所市場第一部
 証券コード 8127

■特別口座に記録された株式をお持ちの株主様へ
 特別口座は証券会社の口座と異なり、株式を売買することはできません。
 売買等のお取引を希望される株主様は、証券会社に口座を開設いただき、
 特別口座から証券会社の口座に株式の振替請求をさせていただきますようお願い
 いたします。

ヤマト インターナショナル株式会社

〒541-0059 大阪市中央区博労町二丁目3番9号
 TEL.06-6262-1661 (代表)

オンラインショップのお知らせ

トレンドのアイテムを便利にショッピングして
 いただけるオンラインショップです。当社ウェブサ
 イトよりアクセスしていただけますので、ぜひで
 活用ください。

<http://www.yamatointr.co.jp/>



クロコダイル メンズ



アクセスしたい
 ブランドを
 クリック
 してください。

クロコダイル レディス

スイッチ モーション

